

No. 1
H=16.74m
dep=13.30m

No. 2
H=17.47m
dep=8.50m

●... ボーリング調査位置

調査位置図
縮尺 S=1:1,000

ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

調査名 (仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園(交流ゾーン)地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo. 12606901

ボーリング名	No.1	調査位置	京都府宇治市宇治乙方 地内
発注機関	宇治市都市整備部歴史まちづくり推進課	調査期間	平成 27年 1月 27日 ~ 27年 1月 30日
調査業者名	サンスイコンサルタント株式会社 電話(075-342-3181)	現場代理人	前川健二
孔口標高	H=16.74m	主任技術者	前川健二
総掘進長	13.30m	試験機	東邦 D0-D
		エンジン	YANMAR NFAD8
		ポンプ	半自動落下装置
			東邦 BG-3C
			北緯 34° 53' 48.4"
			東経 135° 48' 18.6"

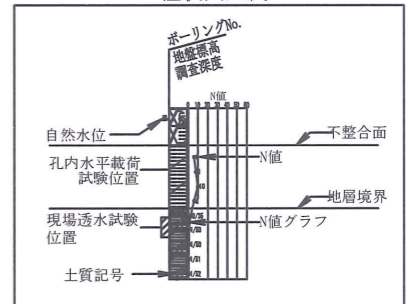
標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠密度	相対密度	記	標準貫入試験			原位置試験	室内試験	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)				試験名
16.59	0.15	16.29	盛土(砂礫)	暗褐				表層、草木根混入砂は粗砂が多い	0.15	1	30	4			1/27
16.29	0.30	15.24	盛土(シルト質粘土)	暗褐	軟い			シルト全体に多く、細礫混入	0.45	2	9	9	P-2	物理	
15.24	1.05	13.94	砂質粘土	暗灰	硬い			粘性弱い、含水中全体に砂分多く、下部は礫やや多くなる	1.15	2	30	72	P-3	物理	
13.94	1.30		砂礫	暗褐	非常に密			含水量多い、砂は粗砂主体、φ2~30mm程度の圓礫多い、最大φ60mm程度の礫混入	2.15	19	60	18			
			礫混りシルト混り砂	黄灰	中位			含水量多い、砂は細砂主体、シルト中に粘土状、下部は少量の細礫混入	2.40	7	30	32			
12.24	1.70	11.59	礫混り砂	褐灰	非常に密			含水量多い、砂は粗砂主体、φ2~10mm程度の礫混入	3.15	6	30	30			
11.59	0.65	10.74	砂質シルト	青灰	非常に密			粘性弱い、含水中、細砂混入多く、互層状	3.45	7	28	28			
10.74	0.85	10.39	シルト質粘土	青灰	非常に密			粘性中、固結状、シルト分多い	4.15	11	30	39			
10.39	0.35	10.14	シルト質砂	青灰	非常に密			含水中、砂は細砂主体、シルト混入多い	4.45	9	30	30			
9.94	1.10	7.94	砂質粘土	青灰	非常に密			粘性中、細砂混入多く、所々薄層状に挟在	5.15	8	30	50			
7.94	1.10		シルト質砂	青灰	非常に密			含水中、砂は微細砂主体、シルト分多い	5.45	16	30	74.5			
			砂	青灰	非常に密			含水量多い、粗砂の混成で、それぞれが砂を成す	5.15	30	60	75			
			砂	青灰	非常に密			φ2~10mm付近、φ2~5mm程度の礫混入、所々シルトを挟在し、φ2~12mm付近よりシルト少量の有機物混入	8.45	24	60	72			
			粘土混り砂	青灰	非常に密			含水中、砂は微細砂主体、粘土をブロック状に挟在、少量の有機物混入	9.33	26	60	69			
3.94	4.00	3.44	粘土混り砂	青灰	非常に密				10.15	4	24	120			
									10.39	22	18				
									11.15	26	12				
									11.40	5	25				
									12.15	24	14				
									12.41	6	26				
									13.15	30	30				
									13.30	5	15				

地質想定断面図

凡例

B	盛土	沖積層
Ac	粘性土層	
As	砂質土層	
Ag	礫質土層	段丘層
Ts	砂質土層	
Tg	礫質土層	大阪層群
Oc1~2	第一~二粘性土層	
Os	挟在砂質土	
Os1~2	第一~二砂質土層	
Og	礫質土層	

柱状図凡例



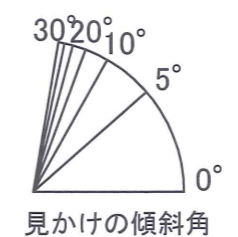
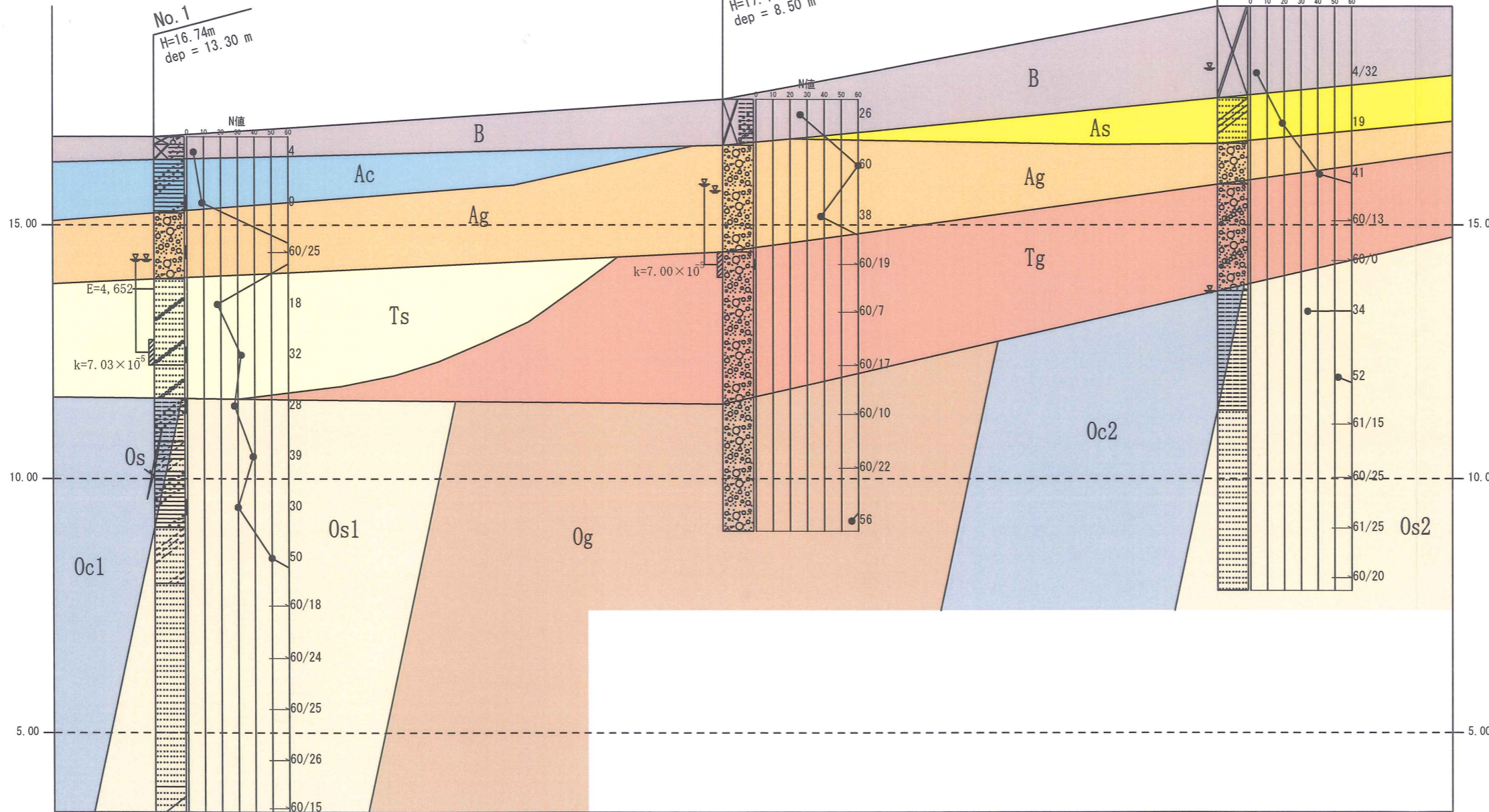
土質記号凡例

粘土	粘土混り	粘土質
シルト	シルト混り	シルト質
砂	砂混り	砂質
砂礫	礫混り	盛土

k=透水性係数 (m/sec)
E=変形係数 (kN/m²)

標高 (m)

標高 (m)



※大阪層群の傾斜は図3-3調査地付近地質図より概ね北西方向に25°程度の傾斜としている。

No. 1-No. 2-既7-1-66-11
地質想定断面図
(縮尺 縦1:100 横1:1,000)

現場透水試験データシート

調査件名 (仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園(交流ゾーン)地質調査業務委託

試験年月日 2015.01.29

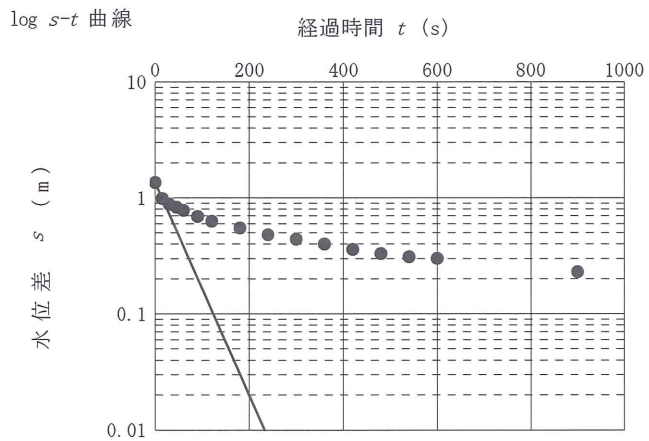
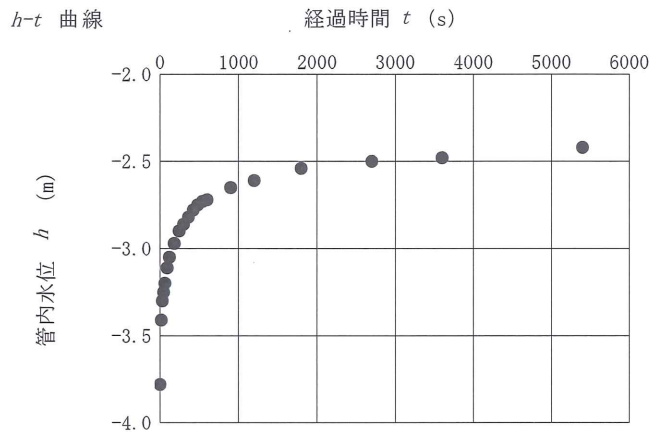
地点番号 (地盤高)No.1 (H=+16.74m)

試験者 永井和憲

試験条件	試験方法		汲上げ(回復)/投入		天候	
	試験区間の深さ	GL m	-4.00 ~ -4.50	管口の高さ	GL m	+0.35
	試験区間の長さ	L m	0.50	上部離隔長	L_1' m	
	平衡水位測定		試験前/試験後	下部離隔長	L_2' m	
	平衡水位	h_0 GL m	-2.420	試験区間の孔径	D m	0.066
	試験開始水位差	s_p m	1.360	測定パイプの内径	d m	0.070
			等価内径	d_e m	0.070	

試験記録

経過時間 t s	水位測定管内 水位 h GL m	水位差 s (= h_0-h) m
0	-3.780	1.360
15	-3.410	0.990
30	-3.300	0.880
45	-3.250	0.830
60	-3.200	0.780
90	-3.110	0.690
120	-3.050	0.630
180	-2.970	0.550
240	-2.900	0.480
300	-2.860	0.440
360	-2.820	0.400
420	-2.780	0.360
480	-2.750	0.330
540	-2.730	0.310
600	-2.720	0.300
900	-2.650	0.230
1200	-2.610	0.190
1800	-2.540	0.120
2700	-2.500	0.080
3600	-2.480	0.060
5400	-2.420	0.000



試験結果

直線上の点座標 t_1 s	0	直線勾配 a 1/s	9.19×10^{-3}	透水係数 k m/s	7.03×10^{-5}
直線上の点座標 t_2 s	15	$a = \frac{\log(s_1/s_2)}{t_2 - t_1}$		$k = \frac{(2.3 d_e)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)^a$	
直線上の点座標 s_1 m	1.360				
直線上の点座標 s_2 m	0.990				

特記事項

調査件名 (仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園(交流ゾーン)地質調査業務委託

試験年月日 2015.02.02

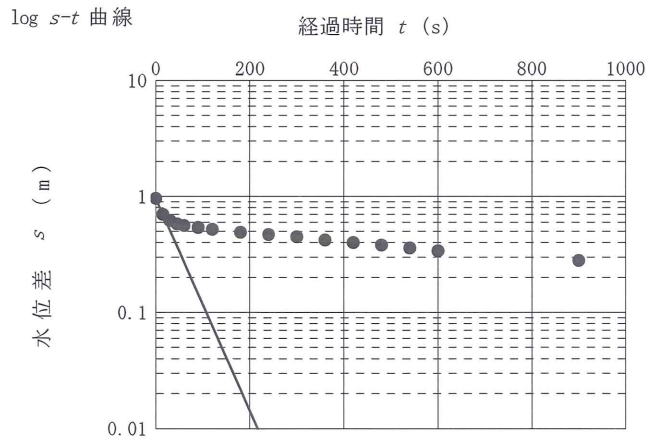
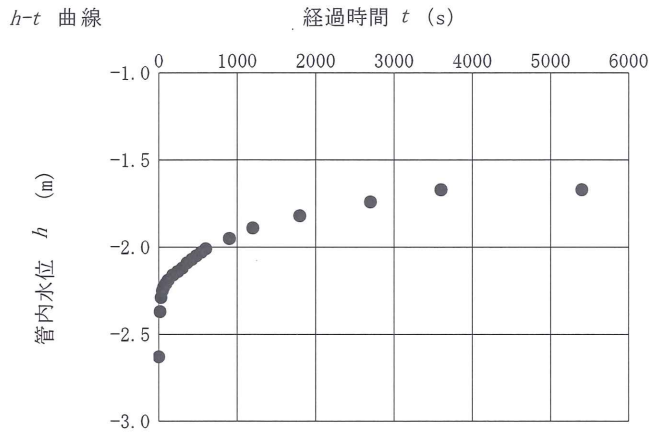
地点番号 (地盤高)No.2 (H=+17.47m)

試験者 永井和憲

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)/投入	天候
	試験区間の深さ GL m	-3.00 ~ -3.50	管口の高さ GL m +0.40
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L_1' m
	平衡水位測定	試験前/試験後	下部離隔長 L_2' m
	平衡水位 h_0 GL m	-1.670	試験区間の孔径 D m 0.066
	試験開始水位差 s_p m	0.960	測定パイプの内径 d m 0.070
		等価内径 d_e m 0.070	

試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=h ₀ -h) m
0	-2.630	0.960
15	-2.370	0.700
30	-2.290	0.620
45	-2.250	0.580
60	-2.230	0.560
90	-2.210	0.540
120	-2.190	0.520
180	-2.160	0.490
240	-2.140	0.470
300	-2.120	0.450
360	-2.090	0.420
420	-2.070	0.400
480	-2.050	0.380
540	-2.030	0.360
600	-2.010	0.340
900	-1.950	0.280
1200	-1.890	0.220
1800	-1.820	0.150
2700	-1.740	0.070
3600	-1.670	0.000
5400	-1.670	0.000



試験結果

直線上の点座標 t_1 s	0	直線勾配 a 1/s	9.14×10^{-3}	透水係数 k m/s	7.00×10^{-5}
直線上の点座標 t_2 s	15	$a = \frac{\log(s_1/s_2)}{t_2 - t_1}$		$k = \frac{(2.3d_e)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)^a$	
直線上の点座標 s_1 m	0.960				
直線上の点座標 s_2 m	0.700				

特記事項